

# 発達支援センターだより

## 平成28年度 冬号

平成29年1月6日発行 守山市発達支援センター  
 守山市下之郷三丁目2番5号 守山市福祉保健センター（すこやかセンター）  
 Tel：077-582-1158 Fax：077-581-1628 E-mail：hattatsu@city.moriyama.lg.jp

### すこやかまちづくり行動戦略 市民啓発講座

12月3日（土）すこやかセンター3階講習室にて、すこやかまちづくり行動戦略市民啓発講座として「発達障害を知ろう」をテーマに一般市民さん向けの講演会を開催しました。真冬の寒い中、76名の方が参加されました。今回の講演会は、講師に作家としても有名な、椋山女学園大学国際コミュニケーション学部教授の堀田あけみさんをお迎えし、「発達障害のある子の子育て」と題してお話していただきました。

「そのままでもいいよ。」子育てについてこう語られる堀田さん。堀田さんは支援者であると同時に、自身も発達障害の子を持つ母親でいらっしゃいます。発達障害への理解を訴えるとともに、同じ子育てにおいての悩みや不安を持った参加者に、親としての思いや心構えを訴えておられました。

参加者の声（一部抜粋）

- 子育てに対して不安もありますが、発達障害のある子が小さな頃から周りに気に掛けてもらい、自分ができないことがわかっている子は大人になってからもちゃんと対処でき、トラブルになりにくいという話を聞いて、不安も軽くなり、自信となりました。
- 同じ障害の子を持つ母親としての話が聞いてよかった。目で見てすぐわかる障害ではないけれど、社会の中で適応するのが難しい子ども達がいることをこれからも社会に配信していってほしい。



ご自身の子育ての経験をもとに参加された方に訴えかける堀田あけみさん



### 第2回特別支援教育研修会

11月28日（月）の午後、すこやかセンター3階講習室にて主に特別支援教育に関わる校園の先生を対象に、第2回特別支援教育研修会を開催しました。

今回のテーマは「発達支援の必要な子を含めた集団づくり」。NPO法人福祉広場理事長の池添素さんいけそむちを講師にお招きして、集団づくりにおいて大切なことについてご講話いただきました。池添さんは、集団での関わりが難しい子どもがどんなところに困っているのか、発達障害の特性を理解したうえで、どんな支援（配慮）をすべきか、関わりの中で気をつけたい勘違いなど、とてもわかりやすく教えてくださいました。

また、それを踏まえ、発達支援が必要な子の「サイン」を読み取り、その子の気持ちを受け止めたうえで、子ども達みんなでのびのびと集団活動ができるように支援者として環境を作ってあげることが大切であるとおっしゃっていました。





# ～あゆっ子教室 お楽しみ会～



12月21日(水)・22日(木)にあゆっ子教室で毎年恒例の「お楽しみ会」を開催しました。いちごグループ、みかんグループ、りんごグループの親子を対象に、療育の先生たちが企画した出し物を行いました。はたして今年はどんな出し物が!? 子ども達はドキドキわくわく・・・☆☆



さてさて、お楽しみ会のはじまり、はじまり～。まずは、「わらい声っていいな」のパネルシアターと夜空に見立てたお部屋でキラキラ光る「ブラックシアター」。ブラックシアターでは子ども達が作ったクリスマスツリーも紹介されました。

その後、待ちに待ったサンタクロースがそりに乗ってトナカイと登場し、いっしょに踊りました。そしてトナカイたちによるきれいな音色のハンドベル演奏の後、ま、まさか!? あゆっ子教室に今世界的に話題となっているあの芸人さんが登場! ペンとアップル、パイナップルを持って、「あゆっ子版PAP」! 子ども達もいっしょに踊ってくれました。

そして、サンタさんからのプレゼントと記念撮影。サンタさんを見て固まっている子もいましたが・・・みんな嬉しそうにとってもいい笑顔でプレゼントを受け取っていました。

最後は療育の先生たちによる「CRISTMAS DANCE SHOW!」かわいい衣装のサンタさんやトナカイ、ピカチュウに雪だるまも登場し、盛り上がりました。例年より盛りだくさんのお楽しみ会でしたが、子ども達にとっても、保護者さんたちにとっても特別な一日となっただけだったので、何よりです。

## 発達支援センターの事業紹介

### 保育所等訪問支援事業

平成28年7月より、保護者の就労等の理由により、児童発達支援事業を利用できない子どもに対して、訪問支援員が園現場に出向き、保護者さんや園の先生へのアドバイスや療育支援を実施しています。

## 今年もよろしくお祈いします!!

新年を迎え、今年度も残すところあと3か月となりました。今年も支援充実に向けてセンター職員一同邁進してまいりますので、発達支援センター運営にご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。

